令和３年 10 月 18 日 第２号

なかいずみ学府だより

発行：なかいずみ学府事務局（磐田第一中）

なかいずみ学府教育目標（磐田第一中学校教育目標）

志をもち　しなやかに　たくましく生き抜く生徒の育成

～令和３年度第２回なかいずみ学府合同研修会を開催しました～

毎年夏休みに行われる学府夏季合同研修会では、講師の方をお招きして、なかいずみ学府の実践に関係するテーマで話を聴かせていただいています。今年度は、静岡大学教育学部の小林朋子教授より「学校における子どものレジリエンスを育むためには」というテーマで講演をしていただきました。レジリエンスの定義や方向性、子どもたちのレジリエンスを育む富士山モデルなど、今後の指導に生かしていけるお話を聴かせていただき、大変参考になりました。また、８つに組織した各教育部会での話合いでは、各部で計画している１園３校で実施できそうな交流計画について話し合いを行いました。コロナ禍において、どの程度実施できるのかは未知数なのですが、今年度可能な限り実践を進めておくことが大切だと考えています。すでに活動を始めた部会もあります。それぞれの部会で何ができるのか考え、積極的に実践を進めていくことが、今後のなかいずみ学府小中一貫教育が少しでも前進し、盛り上がっていくことにつながるのではないかと考えています。各部の実践が楽しみです。

＜講演会の様子＞



レジリエンスについての講演を聴かせていただきました。なかいずみ学府の子どもたちの指導へ生かしていくためには、何が必要で、何をすべきなのか考えていきたいと思います。

＜各教育部会の様子＞



各教育部会では、１園３校でどのような実践を進めていけるか、具体的な計画や目指す方向性について話し合いました。今後、少しずつ小中一貫教育が前進していくように、実践を進めていきたいと思っています。

レジリエンスについて、簡単に説明します！

＜レジリエンスとは＞

☞ トラウマ、悲劇的な脅威、ストレスの重大な原因などの逆境（家族や重要な他者との関係性の問題、深刻な健康問題、職場や経済的なストレッサーなど）に直面したとき、それにうまく適応するプロセス

「精神的回復力」「立ち直り力」・・・つらい時、落ち込むことはあるが、でも立ち直る力

＜レジリエンスの方向性＞

☞ 「打ち勝つ」・・・幼少期の逆境に打ち勝つ
「乗り切る」・・・日々降りかかる苦境を乗り切る
「立ち直り」・・・人生を変えるような出来事からの立ち直り

＜レジリエンスの特徴＞

☞ 誰でももっている
誰でも学んで、レジリエンスを高めることができる
あることをするとレジリエンスが弱くなる

うまくいかないことは誰にでもあるものです。何かあったとき、参考にして取り組んでみるのもよいですね。

＜レジリエンスを育てるコツ＞

☞ ①友達や周りの人とつながる
笑顔であいさつする・友達を作るために自分から声を掛けてみる・何かしてくれたときに「ありがとう」を言う

②人助けをする
お手伝いをする・校内のお掃除をする・地域の清掃活動に参加する

③毎日の日課を守る
10 時までに寝て、6 時には起きる・宿題や勉強をする時間を決める・ゲームやスマホの使用はルールを作って守る

④ひと休みする
悩んだときは好きなことをして気持ちを切り替える・いつも取り組んでいることをして気持ちを落ち着かせる・気持ちが落ち着くところをさがす

⑤セルフケアを身に付ける
自分の体の調子を感じ取る・しっかり眠る・リラックスできる方法を見付け、自分でやってみる

⑥目標に向かって進む
自分でできることに一つずつ取り組む・うまくいかなくても、今できることを考えて行動する・結果だけでなく、それまでどう頑張ってきたかを考える

【なかいずみ学府教育部会】の話合い結果

教育部名	令和3年度または今後に実践したいこと
研修部	・ICT 活用や、N スタイルの実践等、幼小中が共通で実施することの共有
外国語教育部	・学年を決め、学習した表現を生かした授業交流
総合・キャリア教育部	・修学旅行で学んだことをまとめ、各校で紹介し合う
道徳部	・「ありがとう」を伝える実践を続けていく。行事や授業など子どもたちがかかわる中で、友達のよさが感じれるように、教員から声掛けをしていく。
特別活動部	・幼少交流では、年長園児に対する学校紹介 ・小小交流では、各学校ごとの行事について紹介し合う ・小中交流では、中学校生活について6年生に紹介
生徒指導部	・あいさつに関する指導の充実 ・児童会、生徒会と連携した指導
特別支援教育部	・特別支援教育についての、教員学習会の実施
健康体力部	・学府統一健康の日の実施 ・保健だよりの充実